

宇治市教育委員会定例会会議録

日 時 令和2年12月16日(水) 午後6時00分 開議

場 所 宇治市役所 602会議室

会 議 日 程

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 会期について

日程第3 報告

会議に付した事項 会議日程に同じ

出席者

教 育 長 岸 本 文 子

(教育委員)

教育長職務代理者 加 賀 爪 毅
委 員 中 筋 斉 子
委 員 小 山 栄 子
委 員 左 聡 一 郎

(出席職員職氏名)

部 長	伊 賀 和 彦	副 部 長	上 道 貴 志
教育支援センター長	林 口 泰 之	教育総務課長	栗 田 益 典
学校教育課長	吉 田 秀 平	教育総務課学校規模適正化推進室長	山 口 立 彦

(書記職員職氏名)

教育総務課企画庶務係長 加 藤 冬 子 教育総務課主任 前 田 圭 祐

開 会 (午後6時00分)

開会宣言 教育長が12月教育委員会定例会議の開会を宣言する。

日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長から宇治市教育委員会会議規則第13条第3項の規定により、加賀爪委員を指名する。

日程第2 会期について

教育長から1日限りとする旨の提案があり、全会一致で決定する。

日程第3 報告

- (1) 文教福祉常任委員会について(令和2年12月11日)
個人情報の紛失について
- (2) 令和3年度宇治市立笠取小学校特認入学募集結果について
- (3) 令和2年度 児童・生徒数推計について
- (4) 宇治市教育委員会後援事業について

以上4件を報告する。

[説明]

(1) 文教福祉常任委員会について(令和2年12月11日)

個人情報の紛失について

木幡中学校で起こった答案用紙の紛失に対して、主な質問として、鈴木委員からは答案の間違った箇所をわかっているのか、復習等に問題ないのか、再発防止について各学校で考えているのか、市教委でまとめて考えているのか。岡本委員からは、小学校でも施錠できる設備は設けられているのか。13日の生徒への説明はどのようなものか。宮本委員からは、生徒が回答を提出したことは確認できているのか。保護者への謝罪については教頭、学年主任、担任で対応したということだが、適当なメンバーか。再テストについて。浅井委員からは、今回の件の原因は何か。徳永委員からは、回収した先生は採点した先生に確実に渡したのか、保管場所にあったのか、回収から採点まで机の上にあったのか、普段はどのような場所に保管しているのかということがあった。

[質疑]

[委員] 本件の原因は何か。

[事務局] 本件は答案回収後、入力担当者が採点し、回答結果を入力した時に初めて紛失が判明した。採点者は採点をしながら生徒のリストと突き合わせる必要があったが未確認であった。また、答案を職員室に持って帰ってきてから、土曜日と日曜日に机の上においていたことも問題があると考える。

[委員] 職員室に生徒が入って答案用紙を持ち去ったということも考えられるのか。

[事務局] 生徒は職員室に入室禁止のため入ることはできない。

[委員] ではどのように無くなったのか。

[事務局] 回答用紙を全て回収したということに間違いが無ければ、採点中に当該回答用紙だけを別のところに置いてしまい、別の書類と一緒に廃棄してしまった可能性があると考えている。

[委員] 確実に回収は行われたのか。

[事務局] 担当者からは、集めてから枚数確認をしたと聞いている。また、生徒本人からも提出したと聞いている。

[委員] 問題用紙はどうか。

[事務局] 問題用紙は人数分あった。今回のテストは回収する先生と採点する先生と入力する先生が別人なので、ミスが起こりやすかったと考えている。

[委員] こういったことは忘れた頃に起こるので、日頃から注意が必要である。

[事務局] 臨時の校長会議を開き注意喚起をした。また、議会では気を引き締めて一からやり直すということを答弁した。

(2) 令和3年度宇治市立笠取小学校特認入学募集結果について

募集は令和2年10月20日から令和2年11月24日まで行った。また、募集開始日に授業参観、学校見学、学校説明会を行った。募集結果は学校説明会等参加者10名、校長面談を受けた者が5名、最終応募者は3名、その内2名は特認在校生の兄弟であった。したがって4名の募集に対し、3名の応募があったため、無抽選で入学を決定した。その結果、令和3年度の在校生については、新1年生が地元0名、特認3名となり計3名で合計地元1名、特認17名の計18名となる予定である。

(3) 令和2年度 児童・生徒数推計について

本推計は、令和2年5月1日時点の児童・生徒数及び0歳から5歳の乳幼児の人口を基にして、現在の0歳児が小学校1年生になる令和8年度までの児童・生徒数を推計したものである。なお、推計中の学級数については、小学校1年生と2年生は1学級35人以下、3年生以上の学年は1学級40人以下で推計している。また、教室数については、5月1日時点の教室数を記載している。

1ページの小学校児童数推計表(総括)は、令和8年度までの学校別の学級数と児童生徒数である。「小学校児童数推計表(総括)」については、左側から、学校名、令和2年5月1日現在の数値、令和3年から令和8年までの推計となっている。令和2年5月1日現在の列に「実C」、「C」、「児童数」と並んでいるが、真ん中の「C」の欄は小学校1年生と2年生を1学級35人で、3年生以上を40人で学級を編制した時の理論値である。それに対して「実C」の欄は、小人数学級を編制したものも含む、今年度の実際の学級数を掲載している。なお、特別支援学級については、学級数、児童・生徒数ともに各校の下段に括弧書きで掲載しており、その数は全体の内数となっている。また、この特別支援学級の児童・生徒数は、小学校では今年度の数値をそのまま推移させ、中学校では小学校の在籍人数を反映させたものである。2ページ目の「中学校生徒数推計表(総括)」についても、小学校と同じ構成になっている。3ページ以降の各学校の学年別の推計表では、5人

以内の人数変動で学級数が増減する学年欄に白丸と黒丸を記している。白丸は5人以内の児童・生徒数減で学級数が減少すること、黒丸は5人以内の児童・生徒数増で学級数が増加することを表している。令和8年までの推計で増加傾向を示している学校は、小学校で、神明、北檜島、大開、西大久保で、中学校はなく、今後も全体的に少子化の傾向が続くものと考えている。

[質 疑]

[委 員] 笠取第二小学校は再来年の新1年生が4名となっているが、そんなに増加するのか。

[事務局] 住基上登録されていることを確認しているので、増加すると見込んでいる。

[委 員] 木幡の大規模開発は反映されているのか。

[事務局] 反映している。

(4) 宇治市教育委員会後援事業について

中西照恵バレエスタジオ主催の中西照恵バレエスタジオ祝45周年記念発表会他3件、計4件について後援した。

閉会宣言 教育長が12月教育委員会定例会の閉会を宣言する。

閉 会 (午後6時20分)